

テーマI・II複合型



アクティブ・ラーニングによる主体的学びの向上と ディプロマ・ポリシー達成度の可視化

京都光華女子大学短期大学部ライフデザイン学科

清中 美羽・大野 瑞穂

中藪 麗・三浦 琳香

相場 浩和・鹿島 我

溝口 侑

*Koka's Heart**

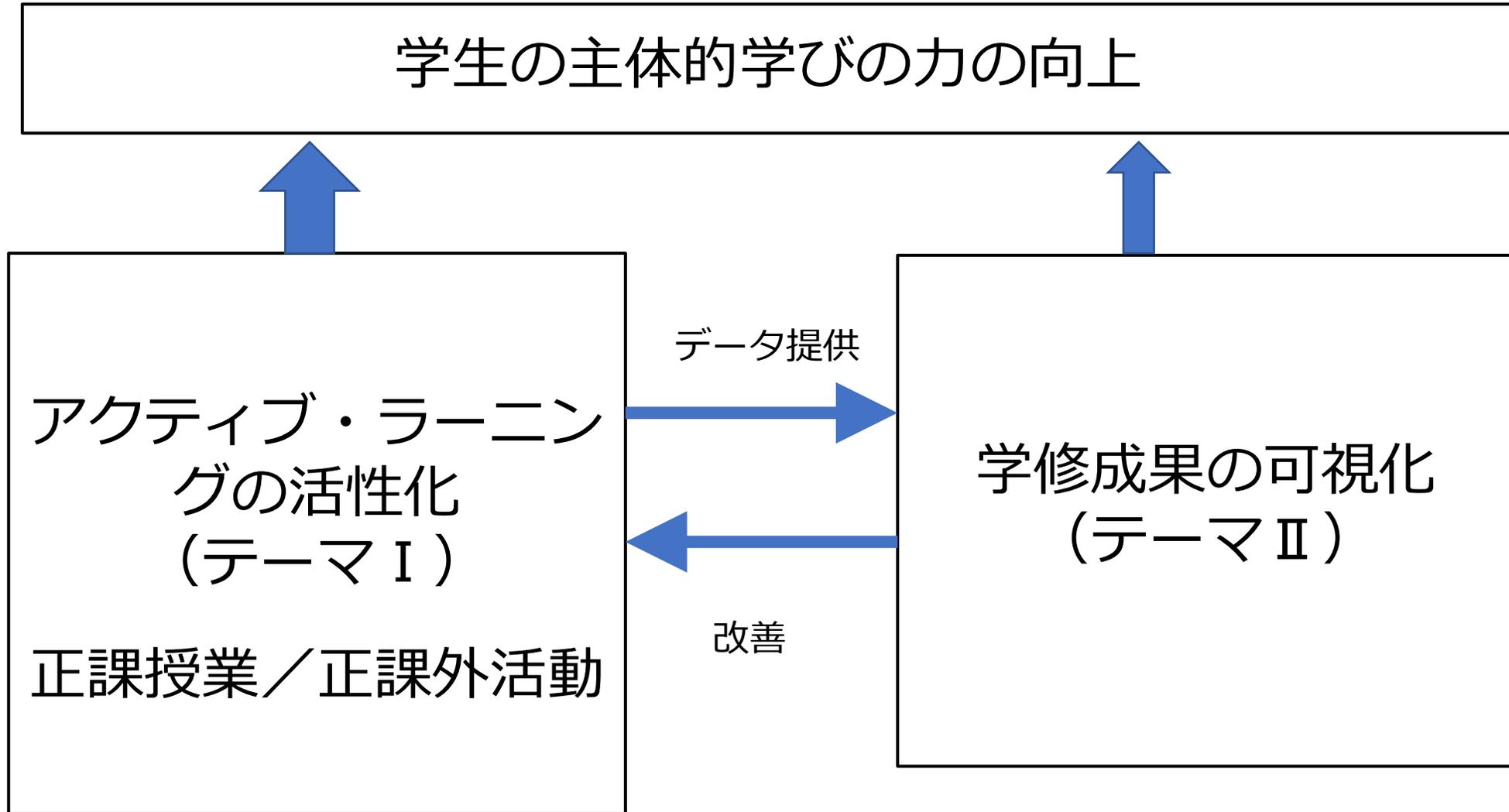


目次

- I 本学の取り組みの概要（テーマ I ・ II 複合型）
- II アクティブラーニング
 - 1 正課授業
 - 2 正課外活動
- III 学修成果の可視化
 - 1 分析的評価
 - 2 全体的評価

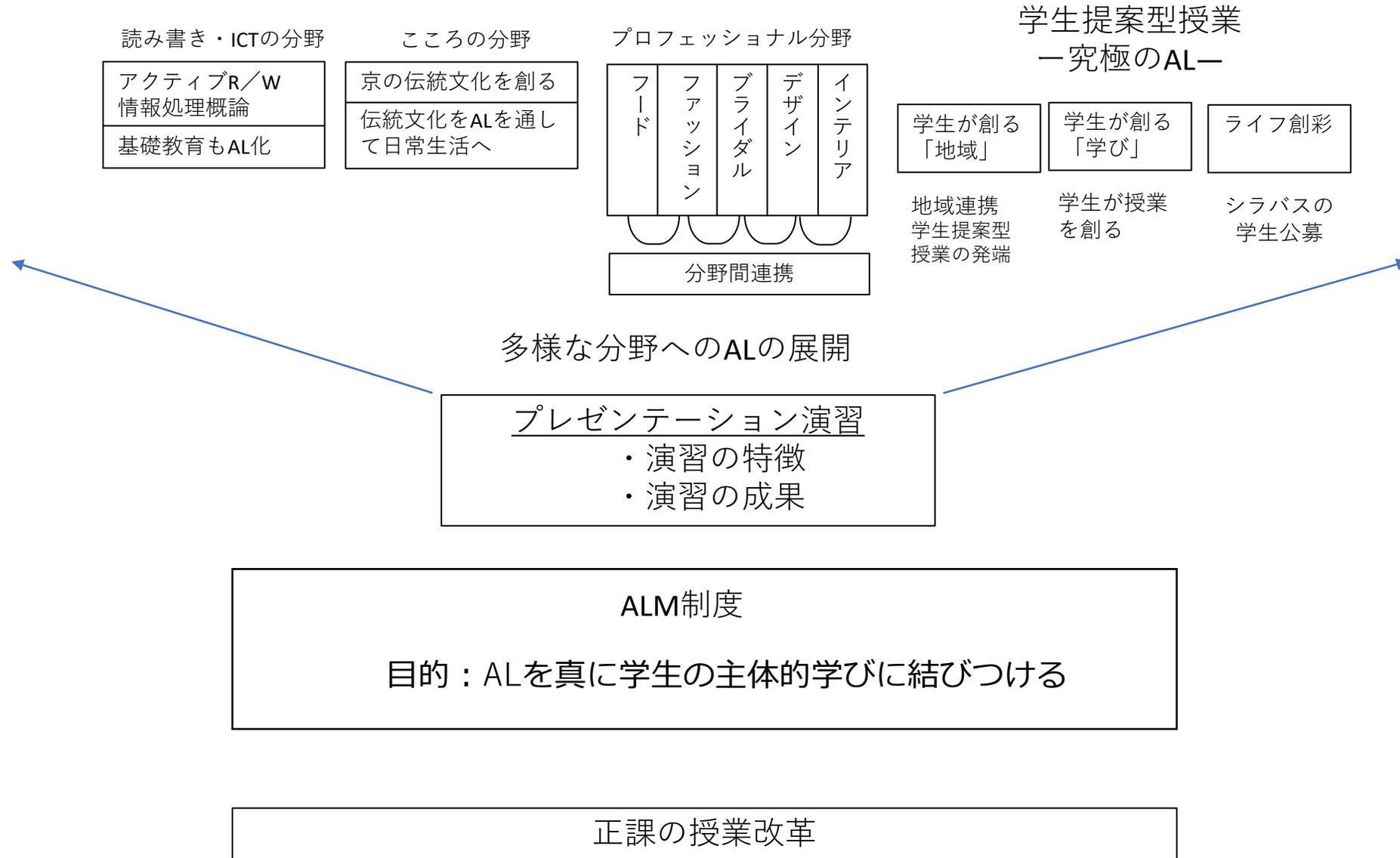


本学のAPの全体像

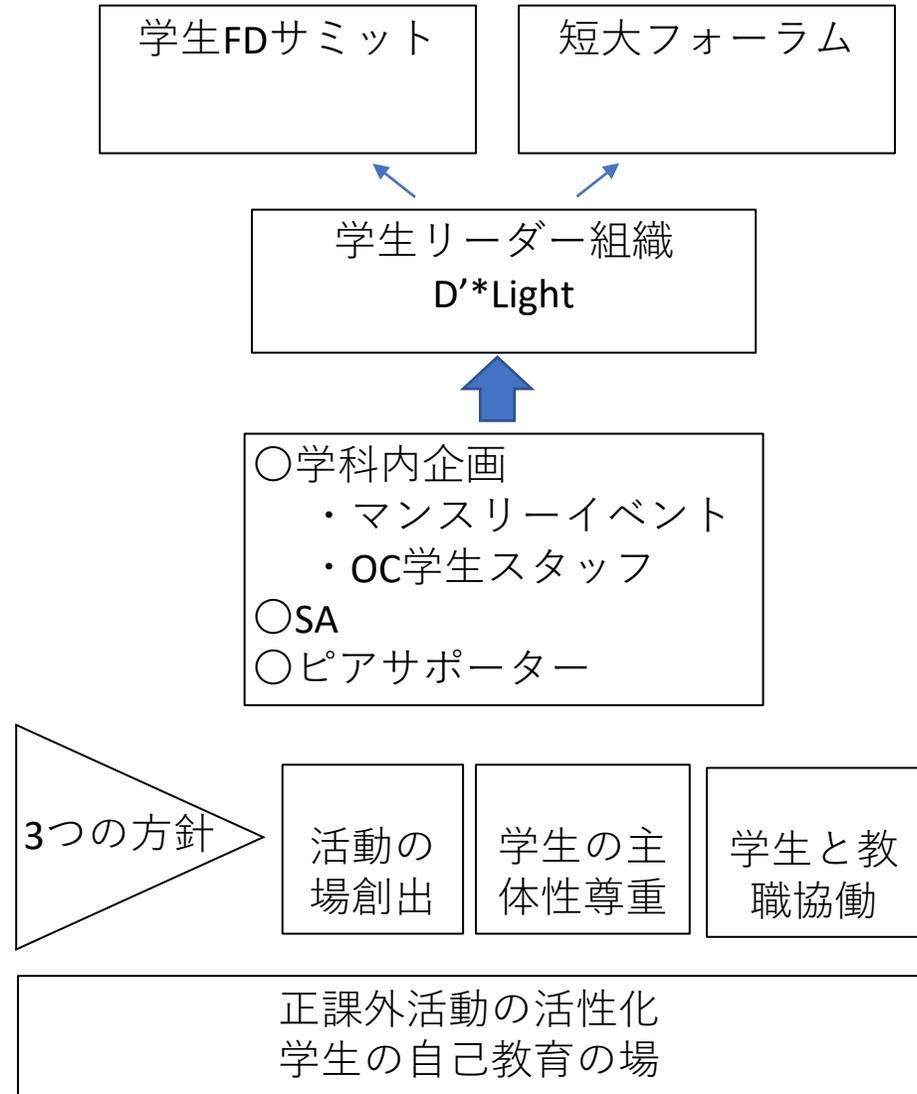




アクティブ・ラーニングの活性化：正課授業



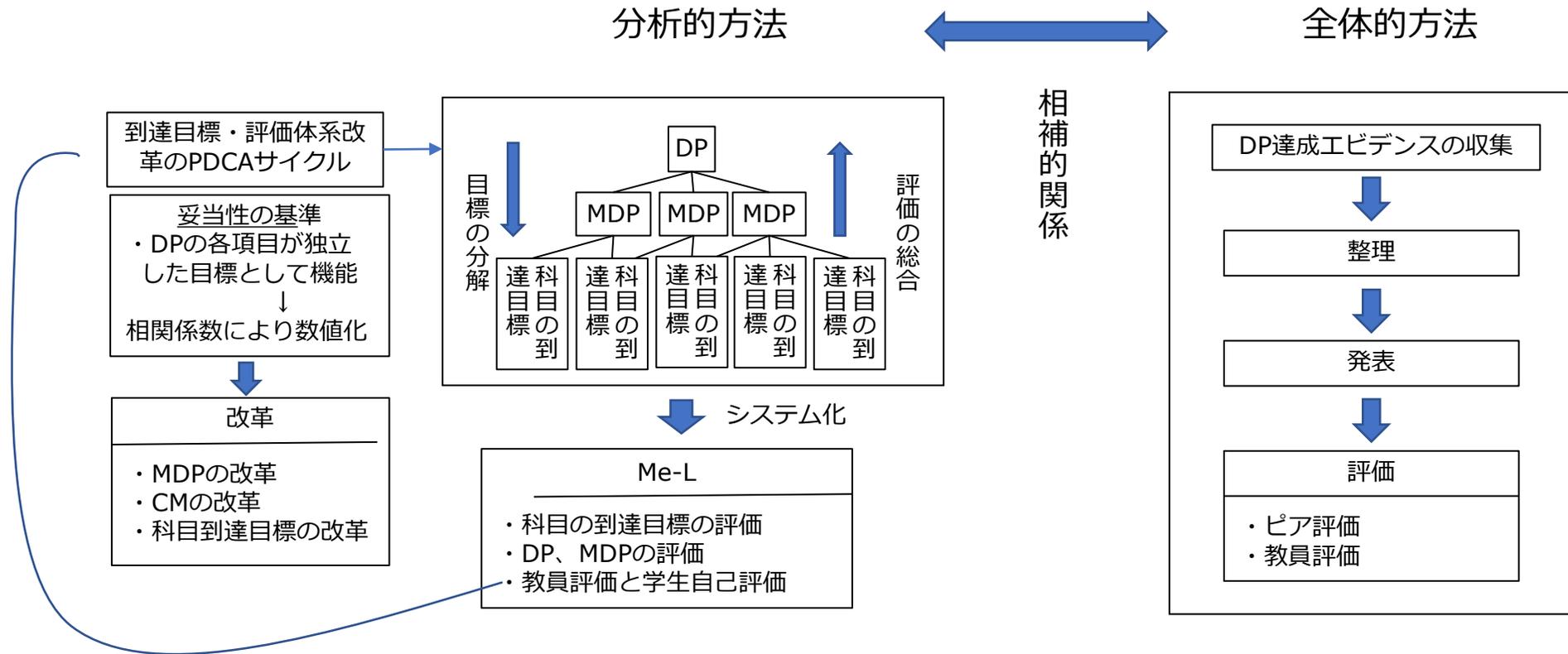
アクティブ・ラーニングの活性化：正課外活動



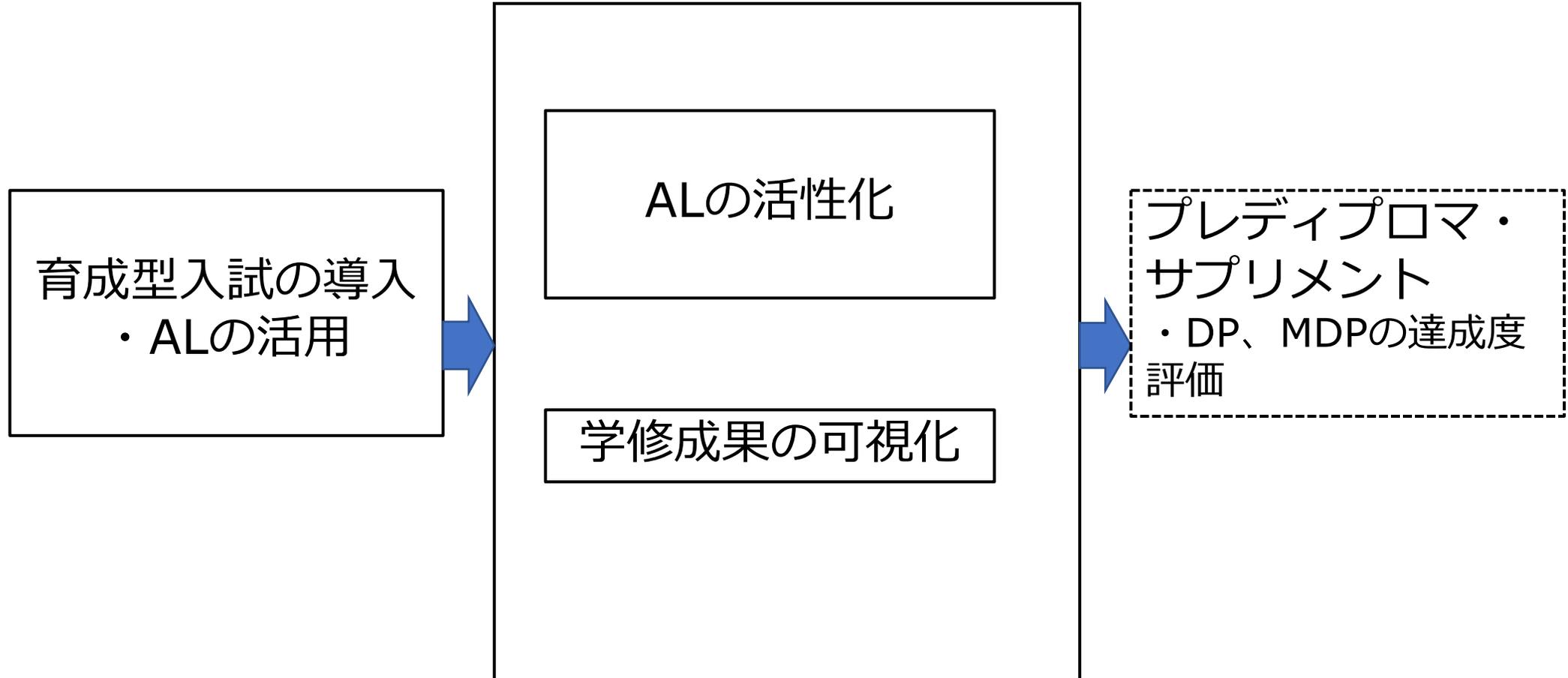


学修成果の可視化

DPを核とした可視化の標準モデル

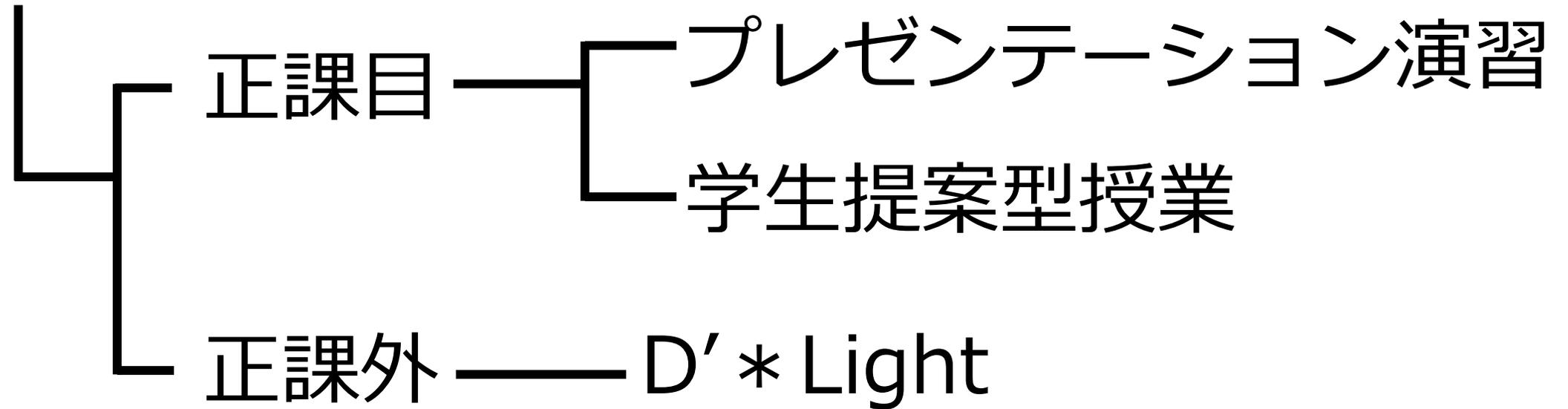


テーマⅠ・Ⅱから総合的高大接続改革へ



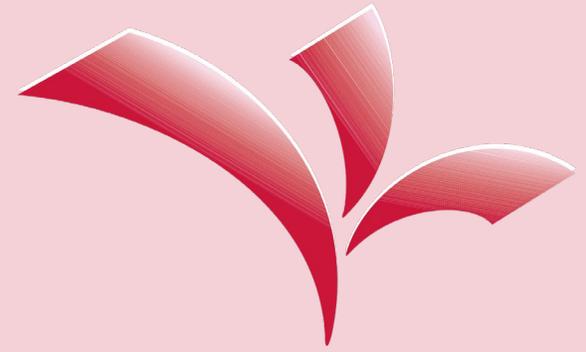


アクティブ・ラーニング





正課目（授業）での アクティブ・ラーニング



プレゼンテーション演習

プレゼンテーション演習



2年生の選択科目であった「プレゼンテーション演習Ⅰ・Ⅱ」
この受講者の就職状況が優れていたことから、就職活動において活用できるプレゼンテーションスキルの構築を目標にカリキュラム化
就職率と就職質のアップを目指した！

- ・ 1年生前期の必修授業（受講者 約100名）
- ・ 3クラス（a・b・c）での開講
- ・ 週1回、2コマ連続の授業
- ・ 1クラスに専任教員2名 & SA2名
- ・ 社会人基礎力の育成も目標とする

経済産業省（2014年）

「社会人基礎力を育成する授業30選」に採択



プレゼンテーション演習



受講者との5つのルール

1. Yes, and

人の意見をいきなり否定しない。いったん受け止める。No, butは最悪…

2. Be Present

プレゼンとは、言葉のプレゼントで人の心を動かすこと

3. Listen

聞く (hear) のではなく、人の話を聴こう

4. Co-Create

学びの場では、教員 > 学生ではなく、教員 = 学生

5. Have Fun

「しんどい」「難しい」ではなく、「こんな大変こと…楽しい」



プレゼンテーション演習

～前半～

プレゼンに対する…**苦手意識の克服 & 間違った概念の払拭**

(内容)

- ・アイスブレイクを目的としたミニゲームが中心
- ・個人の発表から徐々にグループの中での発表へ
- ・発表時間も10秒～1分
- ・7回目に1人2分の中間発表プレゼン大会を開催（代表5名×3クラス）





プレゼンテーション演習

～後半～

プレゼン大会の開催を踏まえたグループワークの実施

(内容)

最終目標は企業や自治体からテーマ提案を受けるプレゼン大会の開催

- ・ クラス代表2組を決め、外部審査員を前にしたプレゼン発表
- ・ 必ず、テーマ提案団体を取材
- ・ 1チーム12分（発表8分&質疑応答4分）で最優秀プレゼン1組を決定





受講前の気持ち

人前で話すのは苦手
だけど別に困らない

毎週金曜日が憂鬱...

こんな授業行きたくない

なぜプレゼンをしないと
いけないの!?

前半

後半



アイス
ブレイク

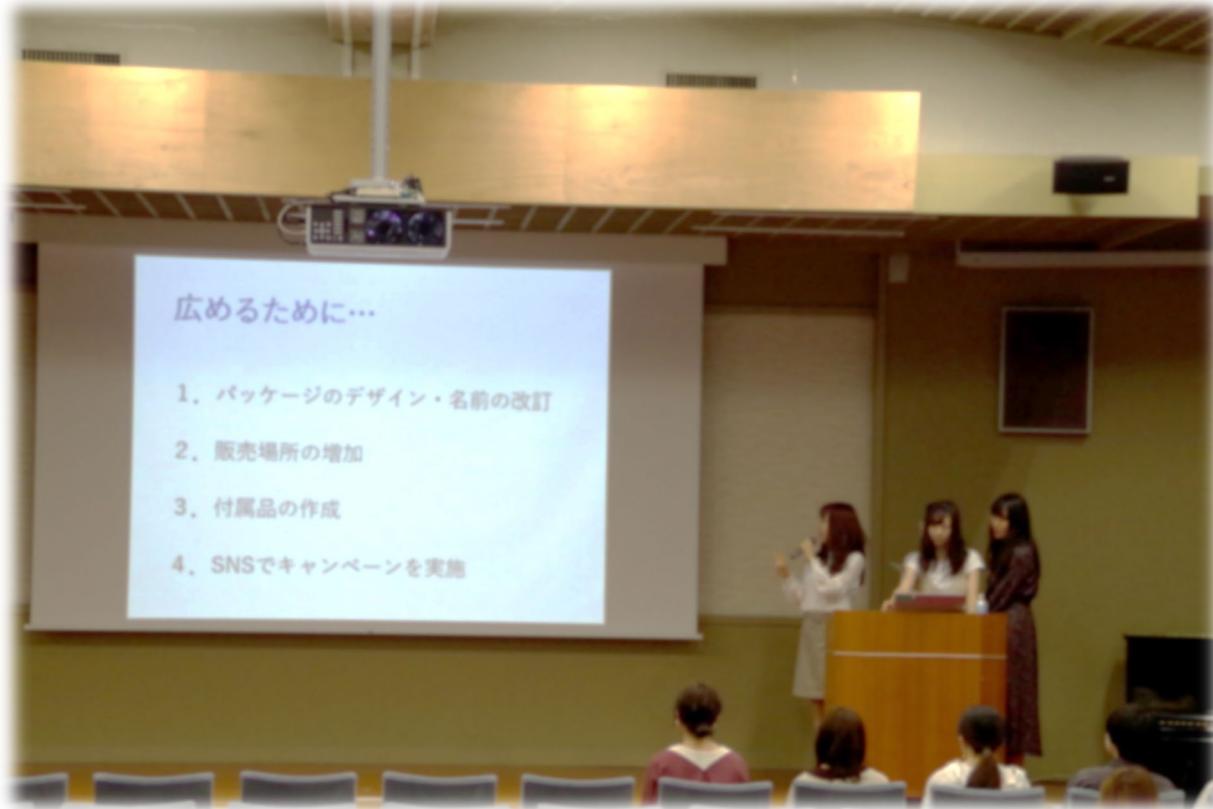
2分間の
ミニプレゼン
大会

チーム
プレゼンの
練習

12分間の
プレゼン大会



自治体や企業の方にプレゼン！！



自信がついた!!

まさか
自分が！！

もっと
上達したい!!



SA制度

SA(スチューデントアシスタント)とは...

前年度履修した2年生が教員とともに授業の質の向上、改善をしていき、サポートするもの



プレゼンテーション演習の
授業受けてたら人前で話すのが
楽しくなったわ♪



前半

プレゼンに対する苦手意識の克服&間違った概念の払拭

- 楽しいと思える雰囲気作り
- ミニプレゼン大会に向けてアドバイス
- プレゼン力が成長できるという見本





後半

プレゼン大会の開催を踏まえたグループワークの実施

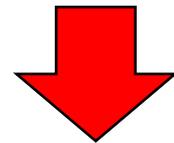
- ・グループ内の雰囲気づくり
- ・行き詰った時のアドバイス
- ・プレゼン内容への指摘





プレゼンテーション能力の向上だけでなく・・・

- ・ 周りの状況を見て行動する力
- ・ 相手にわかりやすくアドバイスする力
- ・ どこを改善すべきか見極める洞察力



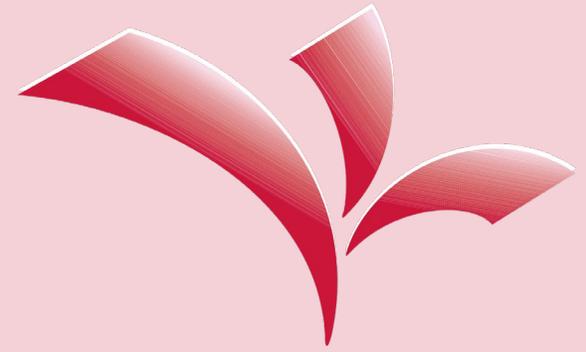
後輩の成長と共に自らの成長も実感



学生提案型授業

自分たちが本当に学びたい授業について、学生自身がシラバスの作成・担当教員への依頼等を行い正式な科目化を行うことで成立する授業

1. 学生が創る 「地域」 (2014年度開講)
2. 学生が創る 「学び」 (2016年度開講)
3. ライフ創彩 (2018年度開講)



学生が創る「地域」



学生提案型授業

1. 学生が創る「地域」 a

- ・ 前年度の学生提案型授業の発展形
- ・ 和歌山県田辺市・白浜町で1泊2日のフィールドワーク
- ・ ICT、観光、等の最新システムの体験
- ・ 夏季限定「紀南大学」の提案





学生提案型授業

1. 学生が創る「地域」b

- ・ 広島県神石高原町での3泊4日の農家民泊
- ・ 地元の女性が抱える問題の共有
- ・ 収穫体験 & 郷土料理の調理体験
- ・ 解決策の模索



学生提案型授業



1. 学生が創る「地域」C

- ・ 岡山県吉備中央町 & 阪急交通社との産官学連携授業
- ・ 吉備中央町を訪問する新ツアーの開発
- ・ 講義⇒フィールドワーク⇒ツアー企画の作成⇒プレゼン発表
- ・ 幕張メッセ「地方創生EXPO」でも報告





過疎化

少子化

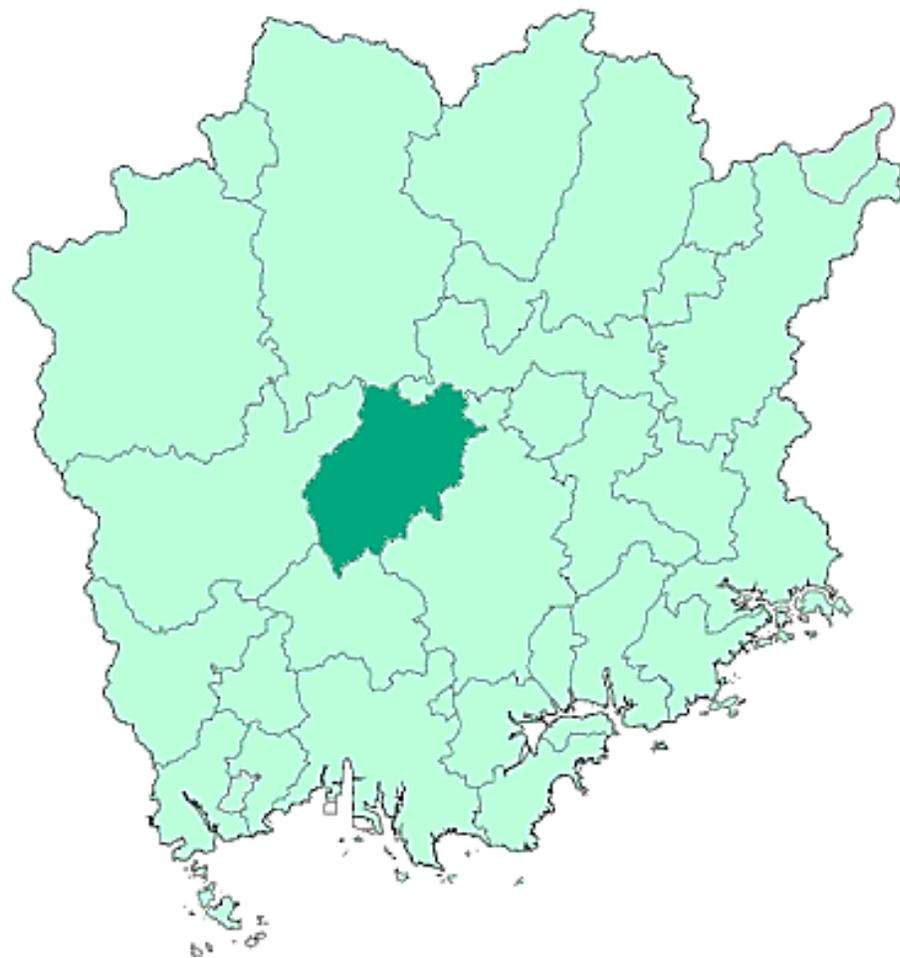
消滅可能都市

etc...

問題に注目！



岡山県 吉備中央町



学生目線で ツアーを企画！



岡山県吉備中央町

阪急交通社

産官学連携

京都光華女子大学
短期大学部

講義

阪急交通社の方から
ツアーの作り方の指導

自分達が楽しめて収益が
見込める内容を目指す



フィールドワーク

- ・ ツーリング
- ・ 小森温泉
- ・ 民宿体験
- ・ 天体観測
- ・ 雲海
- ・ ピザ作り



企画・発表



(阪急交通社 社内)

- ・フィールドワークを通してツアーを企画
- ・阪急交通社
吉備中央町長
旅倶楽部会員の前で
プレゼンテーション



提案したツアー

ログハウス
労働力提供型ツアー



カメラ女子旅

命の大切さ
サマーキャンプ

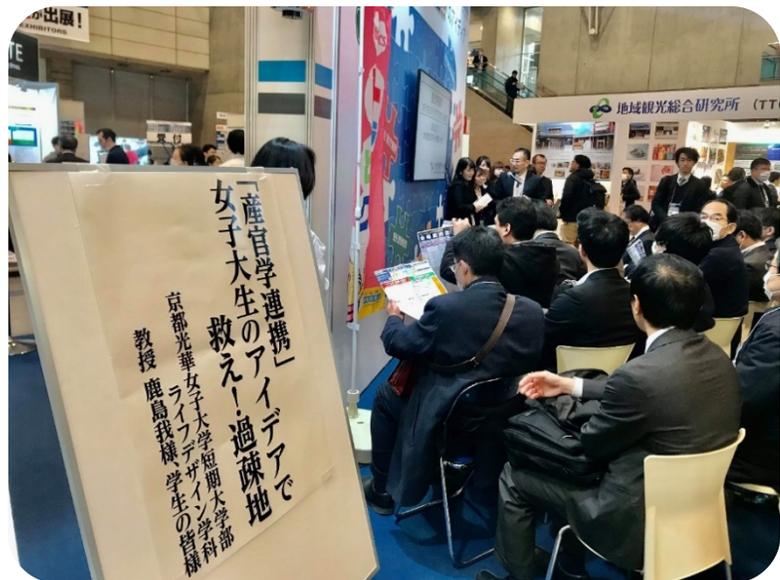


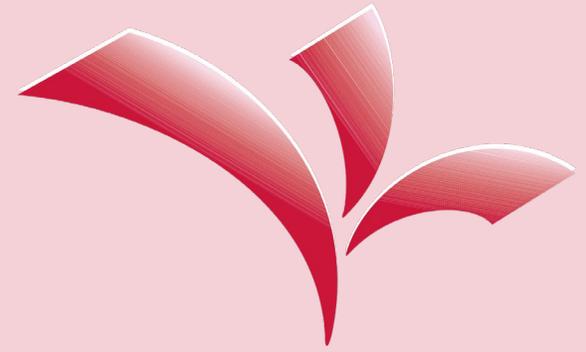


✓幕張メッセ「地方創生EXPO」で報告

✓来年度、提案したツアーをさらに検討

✓正式なツアーとして商品化





学生が創る「学び」

学生提案型授業



2. 学生が創る「学び」

- ・ 卒業後、社会人として身につけておくマナーについての授業
- ・ 学生が毎回のテーマを決定、講師も務めて授業を進行する
- ・ 講師以外の学生は通常の受講者、教員はアドバイザー
- ・ 冠婚葬祭や食事のマナー、ホテルのフルコースを体験





入学して 2年間で社会に…

マナーを
学びたい！！



時間がない！！



学生が創る「学び」



すべて学生が提案、制作

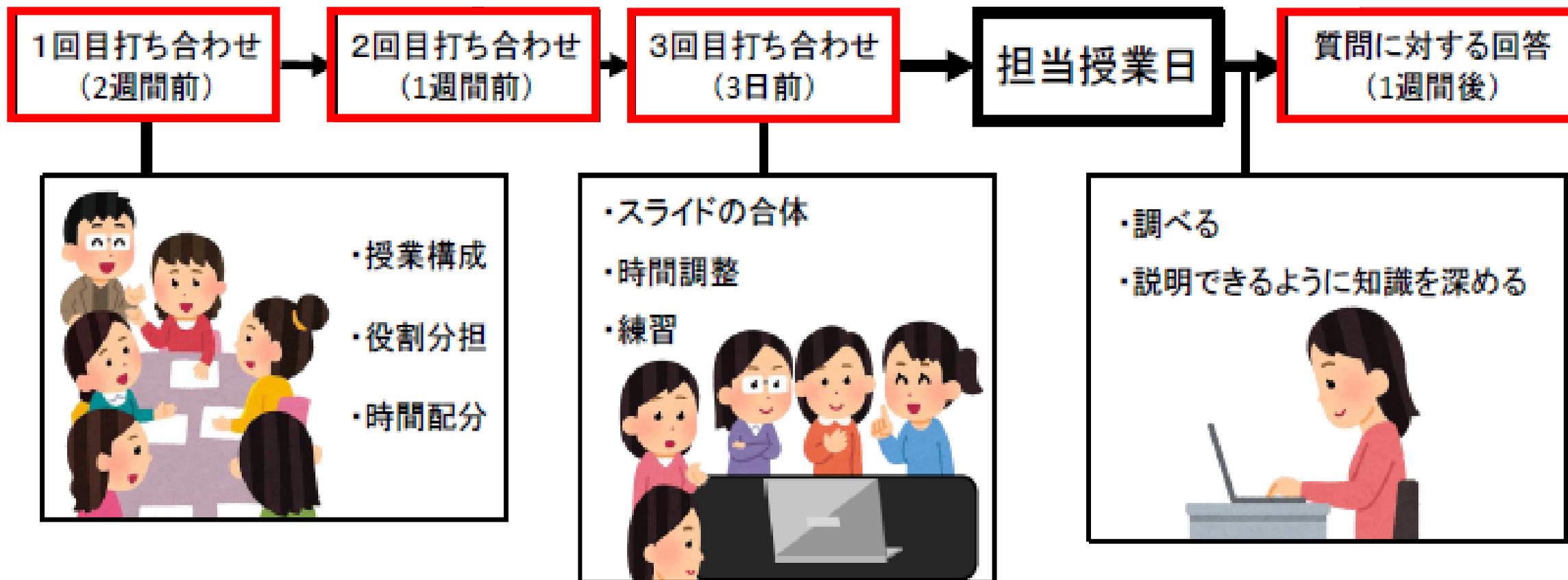
2019年度の小テーマ

- 1 葬式のマナー
- 2 恋愛のマナー
- 3 職場のマナー
- 4 公共のマナー
- 5 お金・贈り物のマナー
- 6 お酒のマナー
- 7 日本と外国のマナーの違い
- 8 言葉遣いのマナー
- 9 結婚式のマナー
- 10 服装のマナー
- 11 観光のマナー
- 12 旅館・ホテルのマナー



学生が創る「学び」

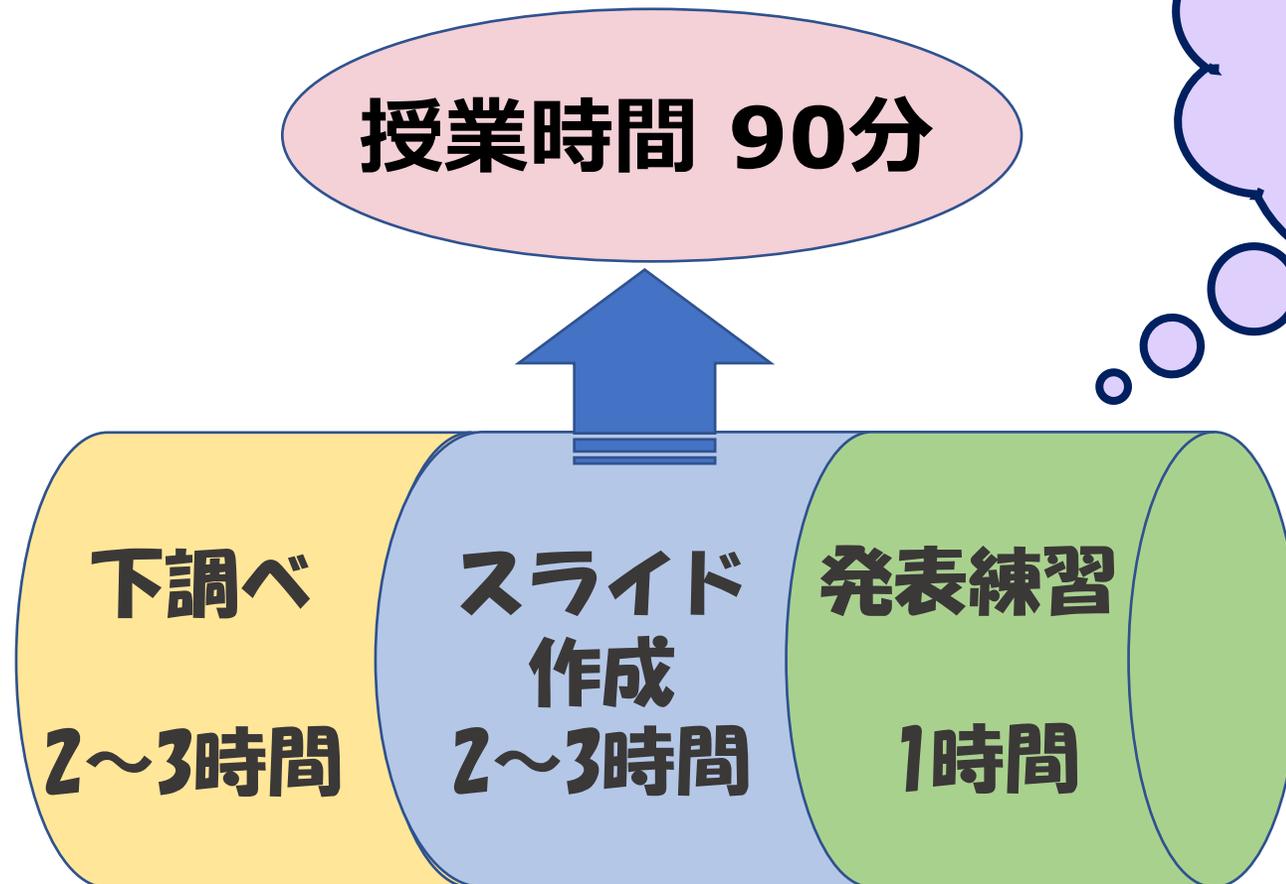
① スケジュール





学生が創る「学び」

① スケジュール



3~4倍の
時間がかかる

学生が創る「学び」

②講義を行うことの難しさ

相手に伝わる説明

= 誰よりも理解しないといけない

飽きられない授業

= 工夫を凝らした内容

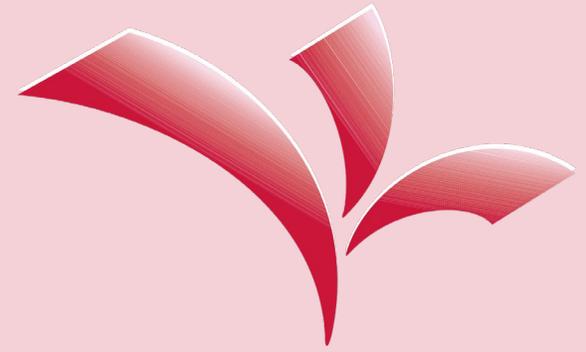
想定外の質問

= 柔軟な対応力





先生リスペクト



ライフ創彩

*Koka's Heart**



学生提案型授業

3. ライフ創彩

- ・ 学生が学科教員に対して、受講したい内容をプレゼン
- ・ 2017年度に初提案、2018年度に授業スタート
- ・ 教員にとっては学生の考え・趣向を知るきっかけに
- ・ 2020年度の開講に向けて新たに9つの授業提案



教員への提案内容…

- 15回分の授業計画
- 授業の概要 & 到達目標
- 担当依頼(予定)の教員



自分が興味のあることを
授業として提案できる

学生提案型授業「ライブ創彩」応募用紙	
授業タイトル	
授業の概要	*全体としてどのような授業をめざすのか、内容や授業形態など。
到達目標	*この授業を通して受講生は何ができるようになるのか、2~3点、具体的に。
授業計画	*15回すべての予定が立っている必要はないので、大まかな流れを記入できればよい。あるいは、毎回の授業がどのような構成になるかをまとめて説明するだけでもよい。数回をまとめて記入するの也可。
第1回	
第2回	
第3回	
第4回	
第5回	
第6回	
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	
第13回	
第14回	
第15回	

2020年度…

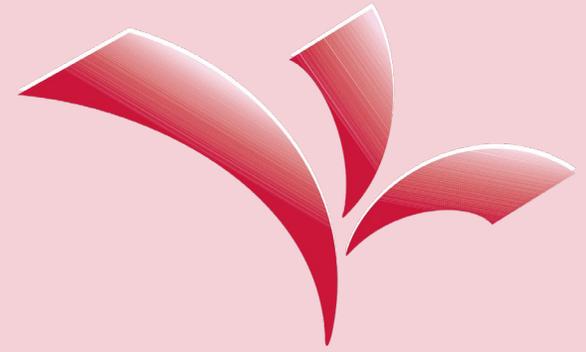
- ・ グループワーク実践

採用

さらに…

- ・ 動物の命の大切さ
(学生が創る「地域」bのテーマ)

正課（授業） 外での
アクティブ・ラーニング



D' *Light (ディライト)



正課外活動

D' * Light (ディライト)

2012年11月、学科をけん引する学生リーダーとして発足
2013年3月、学生FD組織としての活動も追加
過去に解散歴1年、2年生が途中退団歴1回



- 学科の公認を得て活動
顧問は専任教員1名
- 新入生100人のうち、
約2割が参加⇒1年で1割に
- 現在 2年生9名、1年生20名
計29名
- AO入試：D' * Lightに憧れて
入学決定する高校生も



D' * Lightの活動方針

社会人として即戦力になれる人材の育成

～活動～

会議：毎週金曜日18時～エンドレス会議

※報告事項と審議案件

特色：完全プロジェクト制（リーダーは置かない）

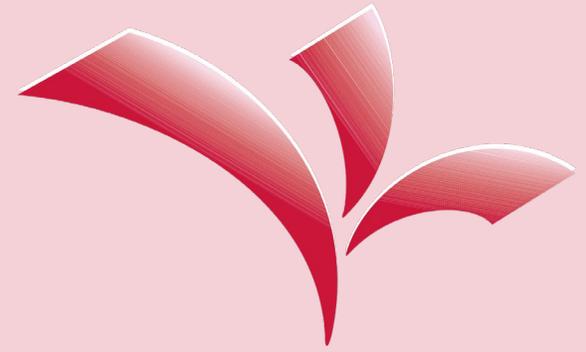
～学生に徹底すること～

☑時間を守る

☑あいさつをする

☑ミスはあって当然！大切なのはその後…

⇒**社会人と同等の責任感を求める**



D' *Lightの主な活動

D' * Lightの主な活動

1. 学生FD活動

- ・履修相談会の開催
- ・学生提案型授業の開発
- ・学生主催講演会の開催
- ・学生FDサミットへの参加
- ・短大フォーラムの立ち上げ
- ・社会人基礎力育成グランプリへの挑戦



学生FD

主に大学の教員が取り組みべきFD活動に関して
その活動（結果）の享受者である学生自身も積極的に参加
さらに、職員も参加し、学生・教員・職員が三位一体となって
狭義での意味での授業改革
広義の意味での大学改革に取り組む活動。

学生FDサミット

学生FD活動最大のイベント。
夏と春、開催大学を変えて1泊2日の日程で開催される。
学生FD活動に熱心な学生はもちろん
それをサポートする教員、職員が一堂に会し
「しゃべり場」「ポスターセッション」「情報交換会」等を通して
全国の大学で行われている先進的な取り組みの情報発信・共有を行う。

学生FDサミット開催大学と本学参加人数



2013年度春	岡山大学	学生 6名
2014年度夏	京都産業大学	学生12名
2014年度春	(開催なし)	
2015年度夏	追手門学院大学	学生13名
2015年度春	日本大学	学生 4名
2016年度夏	札幌大学	学生 5名
2016年度春	山口大学	学生 6名
2017年度夏	金沢星稜大学	学生15名
2017年度春	法政大学	学生 2名



2018学生FDサミットin京都KOKAの開催

- ◆初の「女子大」「短大」での開催
- ◆タイトル
壊して作れ!!～やる気と無気力の壁～
- ◆46大学・311名が参加





しかし...

D' * Lightの学生

- ゼミの話についていけない...
- 就職活動に対する意識が違う

D' * Lightの学生が教員に
短大フォーラムの開催を提案



4年制大学の学生や教員

短大生同士なら悩みや思いに共感してくれるかも...

2016年度 2月 第1回短大フォーラム～蕾～を本学で開催

以降も...学生FDサミットの短大版として...

2017年度	2月	第2回	松本大学松商短期大学部
2018年度	2月	第3回	愛知文教女子短期大学
2019年度	8月	第4回	香蘭女子短期大学
2020年度	2月	第5回	中京学院大学短期大学部（開催予定）





社会人基礎力育成グランプリ出場

- ◆ 学生が行ってきた活動の内容と「社会人基礎力」の成長の度合いを評価する
- ◆ 学生FDサミットの企画と開催について発表
- ◆ 審査員特別賞を受賞





LGBT講演会の開催

- ◆ 性問題に関心のある学生の提案で生まれた企画
- ◆ 企画のすべての準備・運営を学生で行う
- ◆ テーマは「多様な性について」
- ◆ 参加した学生や先生方からも好評





D' * Lightの主な活動

2. 地域や自治体とのコラボ

- 京都市水道局⇒足湯イベントの企画と運営サポート
- 京都市消防局⇒女性消防士増加キャンペーンのサポート
- 京都府銭湯組合⇒利用客増加キャンペーンを主導
- 最近では、D' * Lightに直接の依頼も…



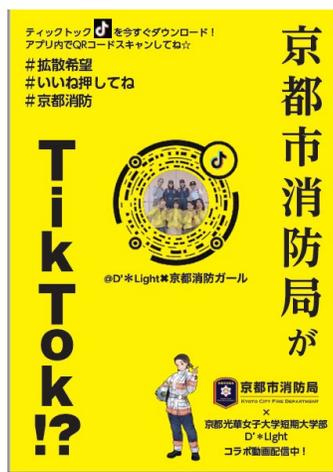


京都市消防局 女性消防士の増員

✓女子大生対象の1 dayインターンシップ
→参加者を増員

✓状況の確認・消防学校の見学

✓チラシ配布・TikTokで広報





結果

1dayインターンシップ参加者

全国2位

京都市水道局 蹴上足湯イベント

- ✓ 日本の誇る“お風呂”文化の魅力を発信し盛り上げるプロジェクト
- ✓ 株式会社ノーリツ 京都市上下水道局と協働
- ✓ ポップ作成、テント等の装飾 イベントの運営





結果



2019年
3日間→**1300**名以上

京都府 銭湯組合

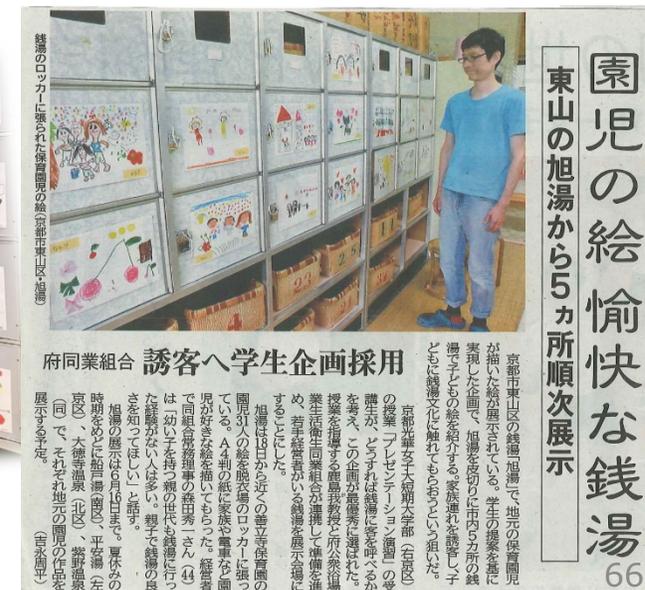


✓集客難に悩む銭湯に
来客数を増やし盛り上げるプロジェクト

✓脱衣所のロッカーに園児が描いた絵を飾り
その絵を見に来る為に家族で銭湯に来てもらう

✓家族層をターゲット

✓現場見学・近くの保育園に絵の依頼





D' * Lightの主な活動

3. 学科行事のサポート

- ・ 新入生一泊研修のリーダー
- ・ オープンキャンパス学生スタッフ
- ・ プレゼンテーション演習のSA
- ・ その他、学科イベントのスタッフは大半がD' * Light





楽しそうな学科だなあ…

- ・ 教員との距離が近い。
- ・ 学年の壁を超えて仲良くなれる。
- ・ 多彩なイベントがある。

ライフデザイン学科って
どんな学科ですか？



オープンキャンパスの様子



学生の作品を展示しています

また来てください♪

笑顔で見送ります☆





高校生からの言葉

私もオープンキャンパス
スタッフやりたい！



先輩みたいになりたい！

不安が消えた！

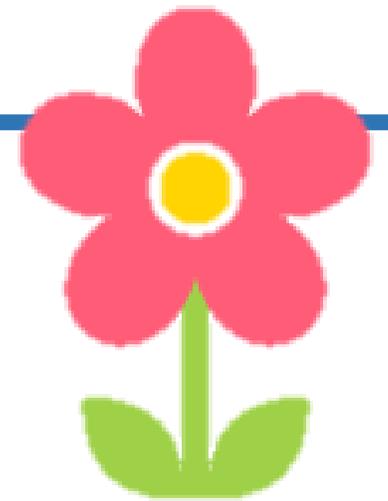
受講したい授業が
いっぱい！

絶対に入学したい！

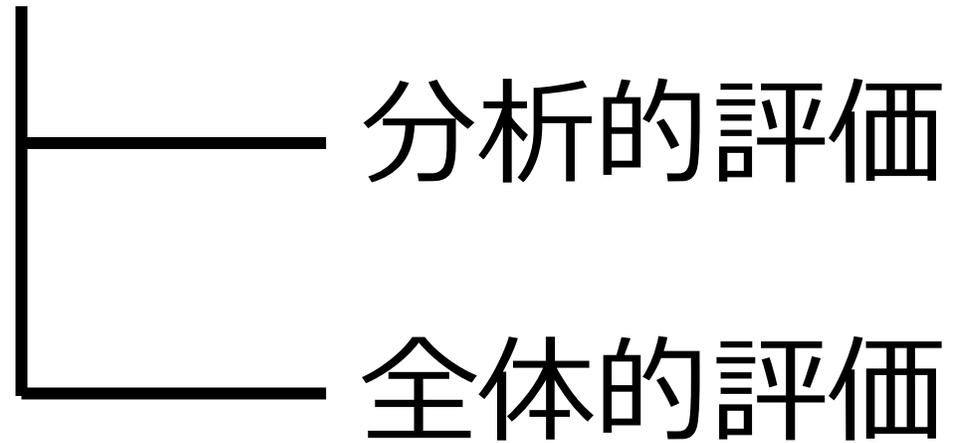


オープンキャンパススタッフを経験して

- 入学前の学生と仲良くなった！
- 学科について詳しくなった！
- 相手目線で説明できるようになった！



学修成果の可視化



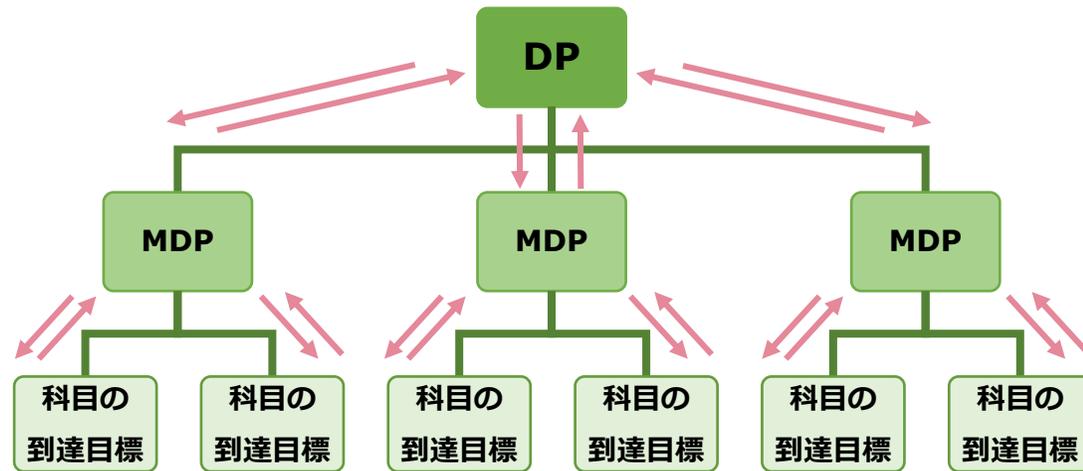


学生の成長を捉える2つの柱

• 分析的評価

Me-L

- カリキュラムマップによって各科目の到達目標とDPを紐づけ、到達目標の達成度に基づいて、DPの達成度を定量的に評価する仕組み



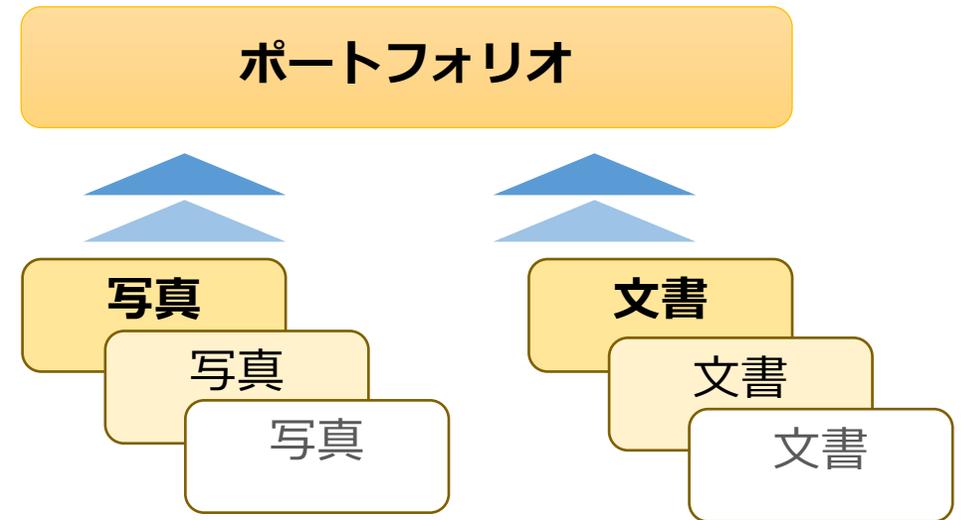
※MDP：ミドルレベル・ディプロマ・ポリシー

Me-Lのイメージ

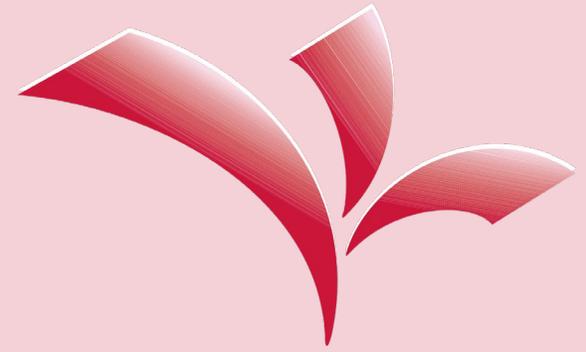
• 全体的評価

ポートフォリオ・システム

- 学生が収集する学びのエビデンスに基づいて、DPの達成度を全体的に評価する仕組み



ポートフォリオのイメージ



Me-L

Me-LによるDP達成度の評価



1. DPを到達目標へ分解する

DP	1	2	3
----	---	---	---



MDP	1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----



科目 1	到達目標①	○				◎	
	到達目標②	○				◎	
	到達目標③		◎	○			
科目 2	到達目標①					◎	
	到達目標②	◎				○	
	到達目標③	◎					

◆ DPをカリキュラムマップに基づいて、各科目の到達目標と紐づける

- その際、DPと到達目標を直接紐づけると、本学のカリキュラムにおける多様な分野の特徴を捉えきれない可能性がある
- そこで、分野ごとの到達目標（ミドルレベル・ディプロマ・ポリシー）を設定した

◆ DP → MDP → 科目到達目標
という階層構造をもった目標体系



Me-LによるDP達成度の評価

2. 到達目標の達成度からDP達成度の評価へ

DP	1	2	3
----	---	---	---



MDP	1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----



科目1	到達目標①	○				◎	
	到達目標②	○				◎	
	到達目標③		◎	○			
科目2	到達目標①					◎	
	到達目標②	◎				○	
	到達目標③	◎					

◆科目到達目標の達成度を基に MDP・DPの達成度を5段階で評価する

➤ 教員だけではなく、学生の自己評価も合わせて算出する

◆階層構造をもった評価体系

➤ 科目到達目標 → MDP → DP

学生へのフィードバック

可視化を学生へ還元する仕組み

1. 「できるようになった」ことの可視化
 - 教員による評価と合わせて学生の自己評価も算出することで、自己評価を数値で表現できる
2. 面談資料
 - 教員とのズレを視認できる
 - この数値を基にして、教員との面談で当該学期の目標を設定する。

こころ

思いやりの心を持って、
学びの意欲を高めること
ができる

自己評価

累積
4.3

MAX 5.0



教員評価

累積
4.2

MAX 5.0

前期

4.3

前期

4.2

**Me-Lのアウトプットイメージ
(プレディプロマ・サプリメント)**



到達目標の改善

◆独立した目標・評価基準

1. Me-Lによる出力結果を用いてDP間及びGPAとの相関を確認した結果、非常に高い相関関係が認められた（2015年度）。
2. カリキュラムマップの見直し，DPと到達目標の紐づけの見直しを行い，再度，相関を確認したところ，やや改善が見られた。

	DP1	DP2	DP3	GPA
DP1	-	.89	.87	.62
DP2	-	-	.87	.63
DP3	-	-	-	.73
GPA	-	-	-	-

① 2015年度2年前期



	DP1	DP2	DP3	GPA
DP1	-	.63	.83	.42
DP2	-	-	.77	.65
DP3	-	-	-	.58
GPA	-	-	-	-

② 2017年度2年前期

3. シラバスの改訂

- 評価すべき能力とその評価手法について修正を行った（2018年度）



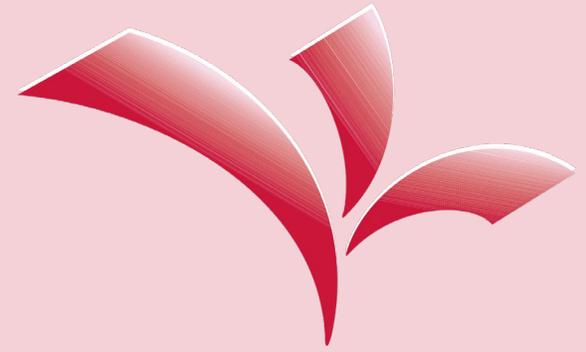
Me-L

■Me-L導入による成果

1. DPの達成度の定量的評価
2. 教員評価の厳密化（到達目標ごとの評価方法の見直し）
3. DPの目標化

□残された課題

1. 分析的評価の合計によってDPの達成度を評価できているのか？
2. 学生がMe-Lの出力結果を積極的にふりかえるための機会がない



ポ^oートフォリオシステム



ポートフォリオシステム

◆学びのサイクル

- ▶ 学生自身が学びのエビデンスを収集し、発表してふりかえりを行う仕組み
- ▶ ただ写真や文書を蓄積するだけではなく、それがどのような学びとつながっているのかを編集することで、自分の学びをふりかえる機会となる

目標設定

目標設定シート作成

目標設定の重要性

- 目標を設定することの重要性について解説。

目標設定シートの記入

- ただ目標を立てるだけではなく、京都光華で学んだからこそその成長を促すために、DPの達成を意識した目標設定をさせる。

編集会

ポートフォリオ編集会

写真をエビデンスへ

- 集めてきた写真に「どのようなことを学んだ場面なのか」等を書き込ませた。

スライドの作成

3つの目標について以下の順にスライドを作成

- 設定した目標
- エビデンス複数枚
- 自己評価とふりかえり

発表会

ポートフォリオ発表会

発表

- 3~4人の班で学生同士で発表し合った。

相互評価（以下の2つの観点で評価）

- 証拠として十分か
- 説明は十分か



ポートフォリオシステム

◆ 学びの証拠とふりかえりに基づいた評価

- ▶ 発表会を終えて学生の成果物としては「ポートフォリオ」と「ふりかえりレポート」がある
- ▶ ポートフォリオとレポートの評価基準については現在作成段階

まとめ

レポートにまとめる 目標達成のふりかえり

- 発表後に改めて目標の達成度を評価
- その評価の理由について文章で記述

DPの理解と達成度

- 学生個人のDPの理解度と達成度を文章で記述

評価

ポートフォリオ/レポート 評価

ルーブリックの作成

- ポートフォリオを評価する基準
- ふりかえりレポートを評価する基準について作成し教員間で共通理解を作る

評価

- 学生と評価基準について了解を得て、実際に評価を行う

発表会の様子





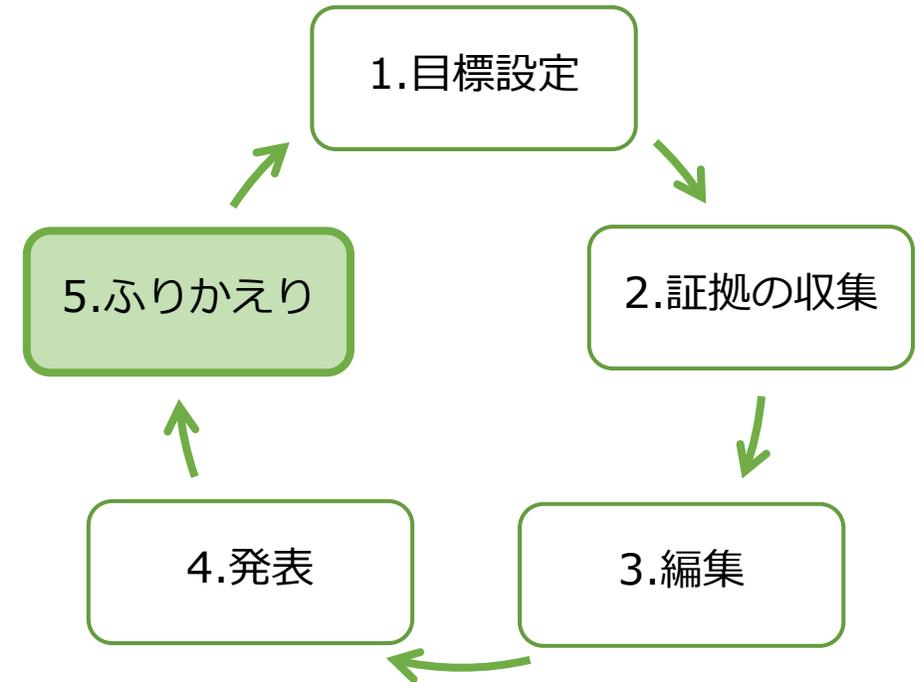
ポートフォリオシステム

■ポートフォリオ導入による成果

1. 全体的な学びのエビデンスの蓄積
2. DPを意識した目標の設定
3. 学びのサイクルの構築

□残された課題

1. 分析的評価（Me-L）との比較・検討
2. ふりかえりを作業から習慣へ

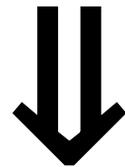




まとめ



- 1 チャレンジ精神の増進
- 2 学外との交流機会の増加
- 3 プレゼン機会の増加



成長を実感し方向性を確信



ライフは

(1) プレゼン演習・学生提案型授業と正課外活動
で、

学生の主体的学びもバッチリ

(2) ディプロマ・ポリシーを核としたMe-L（ミー
エル）とポートフォリオによる可視化で、

教育改善もバッチリ



ありがとうございました！